

埼玉中央支部 NM会員勉強会開催報告

日時：平成29年9月7日(木) 17:30～19:00
場所：TKCさいたまSCGサービスセンター
参加者：NM会員先生6名、埼玉中央支部NMS委員長 宮城洋平先生

今回のテーマ

早期経営改善計画策定支援実践事例 & 継続MAS活用事例



NM勉強会会長：朝倉 靖先生



事例発表担当：菅井 希一郎先生



上尾ブロック：岸下 恭平先生



朝倉 靖先生

古澤 卓先生が新しくメンバーに加わりました。歓迎します。

今、継続MASで初めて短期計画を作っています。早期経営改善計画策定支援にも取り組んでいきたいと思っています。

菅井先生

(早期経営改善計画策定支援について)

プレ405事業の認識については金融機関によって濃淡がありますが、当事業のリーフレットを利用し説明すれば遅滞なく事前相談書は取得できます。事前に経営改善支援センターに申請書の下書きをメールするよう求められます。不備が無ければ申請者と経営改善支援センター担当者との面談日を決めます。面談では簡単なヒアリングがありますが、30分程度です。面談内容は事業計画の内容ではなく申請者の費用負担の確認です。

(継続MASについて)

決算終了後、すぐに中期計画を作成しています。ロカベンは意外と簡単に作れます。社長に示すと食いつきは良いです。システムに搭載されている「経営改善ヒント集」は行動計画の文章を作る際のたたき台になり、とっても便利です。



岸下恭平先生

(早期経営改善計画策定支援について)

最初の1件に取り組んでいます。金融機関からの事前相談書を取得中です。

(継続MASについて)

システム補助ツール内の「借入金返済計画プログラム」は毎月いくら返済すべきかが分かり便利です。

中期計画は短期計画を作るよりも実は簡単で、工夫すれば15分で作成できてしまいます。中期計画はざっくり作れるので短期計画と作業時間は変わりません。予測C/Sはいつ資金ショートするかが分かり予想以上に社長受けします。実効税率も変更でき法人税額も計算できてしまいます。FX2と連動すると相乗効果が出ます。レンタル料も請求しやすくなります。部門別管理を採用している企業は経営計画策定ツールBOXの部門別利益計画プログラムをなるべく利用しています。決算報告会は今期の実績と来期以降の計画値と役員報酬額を伝えるようにしています。

次回開催：平成29年10月6日(金) 17:30～

